

## 論点 外国人患者が症状に応じて安心して医療機関を受診できる取組

### 1 現状・主な課題

- 外国人患者が、軽症でも大病院を受診することが多い
- 訪日外国人については、夕方から夜間にかけて医療機関への受診ニーズが高い

### 2 論点

#### ○診療所や中小病院の取組の促進

- 診療所や中小病院の体制整備に対する支援（体制整備事業の活用促進やマニュアルの作成）
- 診療所や中小病院の後方支援の仕組みづくり（都立・公社病院や通訳拠点病院等との連携）
- 地域の医療機関が共同して医療通訳の事業者と契約する仕組みの検討
- 救急通訳サービスの対応時間・言語の拡大

#### ○医療情報の提供（相談体制の充実）

- 外国人患者への相談体制の充実（外国人向け医療情報サービス、#7119、119番との連携等）
- ひまわりHPによる情報提供の充実
- 関係機関（区市町村・宿泊施設・観光案内所等）と連携した外国人への医療情報・医療機関情報・薬局情報等の提供

#### ○平成30年度の取組（案）

##### 上記を踏まえた、平成30年度の取組（案）について

- 行政機関、医療機関、医師会等関係団体、宿泊施設等からなる協議会の設置
- モデル事業の実施：  
地区を選定し、病院・診療所、関係団体等が連携し、外国人患者が症状に応じて安心して受診できる仕組みの構築に向けた取組を実施